

貸借対照表
令和 7 年 3 月 31 日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	112,186,287	113,907,964	△ 1,721,677
有形固定資産	83,517,362	89,804,063	△ 6,286,701
特定資産	27,104,994	23,453,924	3,651,070
その他の固定資産	1,563,931	649,977	913,954
流動資産	294,174,835	266,835,039	27,339,796
資産の部合計	406,361,122	380,743,003	25,618,119
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	41,552,221	40,989,674	562,547
流動負債	83,311,682	75,950,326	7,361,356
負債の部合計	124,863,903	116,940,000	7,923,903
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金			
第1号基本金	173,713,295	166,868,946	6,844,349
第4号基本金	9,150,000	9,150,000	0
基本金合計	182,863,295	176,018,946	6,844,349
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	98,633,924	87,784,057	10,849,867
純資産の部合計	281,497,219	263,803,003	17,694,216
負債及び純資産の部合計	406,361,122	380,743,003	25,618,119

資金収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(112,059,000)	(112,020,300)	(38,700)
手数料収入	(1,635,000)	(1,711,100)	(△76,100)
補助金収入	(19,374,000)	(19,362,066)	(11,934)
地方公共団体補助金収入	19,374,000	19,362,066	11,934
受取利息・配当金収入	(145,000)	(256,565)	(△111,565)
雑収入	(3,500,000)	(3,746,392)	(△246,392)
前受金収入	(54,890,000)	(72,146,000)	(△17,256,000)
資金収入調整勘定	(△54,890,000)	(△54,944,266)	(54,266)
前年度繰越支払資金	266,310,117	266,310,117	
収入の部合計	403,023,117	420,608,274	△17,585,157

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	(61,100,000)	(60,177,932)	(922,068)
教育研究経費支出	(40,969,000)	(38,412,253)	(2,556,747)
管理経費支出	(7,060,000)	(6,650,706)	(409,294)
借入金等利息支出	(340,837)	(340,837)	(0)
施設関係支出	(2,782,892)	(2,782,892)	(0)
設備関係支出	(2,266,570)	(2,013,770)	(252,800)
資産運用支出	(3,652,000)	(3,651,070)	(930)
その他の支出	(3,862,011)	(15,421,156)	(△11,559,145)
〔予備費〕	(0)		
資金支出調整勘定	(△1,298,410)	(△2,330,552)	(1,032,142)
翌年度繰越支払資金	269,048,054	293,488,210	△24,440,156
支出の部合計	403,023,117	420,608,274	△17,585,157

事業活動収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

教育活動収入	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	(112,059,000)	(112,020,300)	(38,700)
教育活動支出	事業活動支出の部	手数料	(1,635,000)	(1,711,100)	(△76,100)
		経常費等補助金	(19,374,000)	(19,362,066)	(11,934)
		地方公共団体補助金	19,374,000	19,362,066	11,934
		雑収入	(3,500,000)	(3,746,392)	(△246,392)
		教育活動収入計	136,568,000	136,839,858	△271,858
教育活動外収入	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	(64,752,000)	(63,829,002)	(922,998)
教育活動外支出	事業活動外支出の部	教育研究経費	(51,145,000)	(48,448,411)	(2,696,589)
		管理経費	(7,235,000)	(6,783,952)	(451,048)
		教育活動支出計	123,132,000	119,061,365	4,070,635
		教育活動収支差額	13,436,000	17,778,493	△4,342,493
教育活動外収入	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	(145,000)	(256,565)	(△111,565)
教育活動外支出	事業活動外支出の部	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	145,000	256,565	△111,565
教育活動外収入	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	(340,837)	(340,837)	(0)
教育活動外支出	事業活動外支出の部	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	340,837	340,837	0
		教育活動外収支差額	△195,837	△84,272	△111,565
		経常収支差額	13,240,163	17,694,221	△4,454,058
特別収入	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
特別支出	事業活動支出の部	その他の特別収入	(0)	(0)	(0)
		特別収入計	0	0	0
特別収入	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	(4)	(5)	(△1)
特別支出	事業活動支出の部	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	4	5	△1
		特別収支差額	△4	△5	1
〔予備費〕			(0)		
			13,240,163		13,240,163
基本金組入前当年度収支差額			△4	17,694,216	△17,694,220
基本金組入額合計			△7,124,260	△6,844,349	△279,911
当年度収支差額			△7,124,264	10,849,867	△17,974,131
前年度繰越収支差額			87,784,057	87,784,057	0
翌年度繰越収支差額			80,659,793	98,633,924	△17,974,131
(参考)					
事業活動収入計			136,713,000	137,096,423	△ 383,423
事業活動支出計			136,713,004	119,402,207	17,310,797

財 産 目 録

令和7年3月31日

I 資産総額	406,361,122円
内 基本財産	84,720,653円
運用財産	321,640,469円
II 負債総額	124,863,903円
III 正味財産	281,497,219円

資産の部 (単位：円)

区分	金額
1基本財産	
建物	79,834,446
管理用機器備品	3,682,916
ソフトウェア	1,203,291
2運用財産	
現預金	293,488,210
その他	27,791,619
資産総額	406,361,122

負債の部 (単位：円)

区分	金額
1固定負債	
長期未払金	14,447,227
退職給付引当金	27,104,994
2流動負債	
前受金等	83,311,682
負債総額	124,863,903
正味財産 (資産総額-負債総額)	281,497,219

1 学校法人の概要

1 教育理念（教育目標）

美容の道は、心の化粧（美しさは人を幸せにし、豊かな人生の営みと共にあるもの）との理念に立ち、美容の道を歩むに必要な知識と技術を身につけた、人間性豊かな人材を育成する。

2 教育方針

- （1）美容に求められる資質の向上に取り組む。
- （2）自他ともに大切にし、人とのつながりを大切にする人材を育成する。
- （3）すべての学生一人ひとりを大切にする教育を展開する。

3 教育活動

- （1）美容の道を学びながら、美容師免許取得をめざす。
- （2）多様性を認め、他と共に生きる力を育む。
- （3）自分の可能性に挑戦し、さらなる高みをめざす力を育む。
- （4）最後まで、努力を継続する力を育む。
- （5）「共育」、共に育つ、共に歩むという姿勢を大切にして、教育に取り組む。

4 教育の特色

- （1）1年次は美容を総合的に学び、2年次にはより専門的な学びを探究する。
- （2）相互信頼に立ち、学生のよき理解者として一人ひとりに寄り添う教育を実践する。
- （3）長い歴史の中で築いた美容業界とのつながりが強く、実践教育を展開している。

5 教育の課題

- （1）魅力ある授業づくり（アクティブラーニングの推進、シラバスの充実、評価アンケートのフィードバック等）に取り組む。
- （2）特色あるカリキュラムの検討（探究コースの充実等）を進める。
- （3）教育環境の整備（ICT教育の推進等）に努める。
- （4）チーム山美として、教育力の向上に努める。

6 沿革

- 1954（昭和29）年 医療法人山形厚生専門学校に美容科を設置
- 1957（昭和32）年 山形県美容業環境衛生同業組合設立
- 1969（昭和44）年 山形県美容業環境衛生同業組合立山形美容専修学校として認可、
岡村芳春初代理事長就任、遠山甫初代校長就任
- 1970（昭和45）年 安孫子宗雄第2代理事長就任
- 1976（昭和51）年 斎藤甚吉第3代理事長就任
- 1977（昭和52）年 衛生高等課設置認可
- 1980（昭和55）年 奥山繁雄第2代校長就任
- 1985（昭和60）年 安孫子宗雄第4代理事長就任、村岡幸子第3代校長就任
- 1988（昭和63）年 菅野寅太第5代理事長就任
- 1991（平成3）年 伊藤六郎第6代理事長就任
- 1994（平成6）年 斎藤隆第7代理事長就任
- 1998（平成10）年 2年制度の美容師養成施設として認可、校舎新築
- 1999（平成11）年 専門課程設置認可専門士付与、遠山節子第4代校長就任
- 2000（平成12）年 山形美容専門学校と校名変更

2006（平成 18）年 校舎増築

2012（平成 24）年 学校法人薬師の杜学園山形美容専門学校として認可、
齋藤隆学校法人初代理事長就任、小山幸子第 2 代理事長就任

2015（平成 27）年 志田俊雄第 3 代理事長就任、高橋朝子第 5 代校長就任

2022（令和 4）年 高橋淑秀第 4 代理事長就任

2023（令和 5）年 阿部吉宏第 6 代校長就任

7 学生数の状況

	4/1 現在	3/31 現在	備考
1 学年	73 名	66 名	編入 1 名(5/2)、退学 7 名、通信へ編入 1 名
2 学年	78 名	76 名	休学 1 名、退学 2 名
合計	151 名	142 名	

通信生	3/31 現在
(21 期)	(10 名卒業)
22 期	14 名
23 期	16 名
24 期	19 名
合 計	49 名

8 役員の概要（2024 年 4 月改選、2025 年 4 月新寄附行為適用）

	役 職	氏 名	寄附行為 第 6 条	新寄附行為 第 7 条
1	理事長	高橋 淑秀	2 号	2 号
2	副理事長	奥山 伸	2 号	2 号
3	副理事長	齊藤 隆道	2 号	2 号
4	理事	桑原 通夫	2 号	2 号
5	理事	阿部 吉宏	1 号	1 号
6	理事	荒木 茂	3 号	2 号
			寄附行為 第 7 条	新寄附行為 第 22 条
1	監事	志田 俊雄		
2	監事	鈴木 啓司		

9 評議員の概要（2024 年 4 月改選、2025 年 4 月新寄附行為適用）

	役 職	氏 名	寄附行為 第 24 条	新寄附行為 第 31 条
1	評議員	高橋 淑秀	3 号	兼職禁止
2	評議員	奥山 伸	3 号	兼職禁止
3	評議員	齊藤 隆道	3 号	兼職禁止
4	評議員	桑原 通夫	3 号	兼職禁止
5	評議員	荒木 茂	4 号	兼職禁止
6	評議員	阿部 吉宏	4 号	兼職禁止

7	評議員	武田 大	3号 3号
8	評議員	芦野 和子	3号 3号
9	評議員	山岸 礼子	3号 3号
10	評議員	佐藤 光邦	3号 3号
11	評議員	渡部喜代春	3号 3号
12	評議員	佐藤 修	2号 2号
13	評議員	齋藤 明子	1号 1号

10 職員の概要

校長	教頭	教員	事務長	事務員	計	講師	合計
1名	1名	9名	1名	3名	15名	13名	28名

		役 職	氏 名	備 考
1	1	校 長	阿部 吉宏	
2	1	教 頭	齋藤 明子	
3	1	教 員	五十嵐静香	2学年主任
4	2	教 員	新田 哲也	2学年所属、通信主任
5	3	教 員	小林さとみ	1学年主任
6	4	教 員	沖山ゆき枝	2学年担任
7	5	教 員	安達 純子	2学年担任
8	6	教 員	茂木 友博	1学年担任、広報主任
9	7	教 員	船山 愛美	1学年担任
10	8	教 員	土屋 浩美	2学年所属
11	9	教 員	三井寺海香	1学年所属
12	1	事務長	小鹿美香子	
13	1	事務員	藤田 歩	
14	2	事務員	木村 由佳	兼務、事務主任
15	3	事務員	深瀬 直実	兼務
16	1	講 師	大谷 勝実	衛生管理
17	2	講 師	荒木 茂	衛生管理
18	3	講 師	小野 隆弘	芸術
19	4	講 師	鈴木 孝子	保健
20	5	講 師	遠藤 淳子	総合技術Ⅱ
21	6	講 師	丸山 芳浩	社会・福祉
22	7	講 師	石山 ふみ	香粧品化学
23	8	講 師	渡邊 幹子	関係法規・制度
24	9	講 師	齋藤 聡子	社会・福祉
25	10	講 師	福田 真	芸術
26	11	講 師	相澤 孝志	社会・福祉
27	12	講 師	根岸 莉奈	芸術
28	13	講 師	松田 治美	社会・福祉

2 事業の概要

1 教育研究を推進する。

- (1) ICT教育（アクティブラーニング等）を進める。
- (2) よりよい授業づくり（シラバス、評価アンケートのフィードバック、外部講師の活用については、今年度積極的活用の新試みを実施等）に取り組む。
- (3) 時代が求めるカリキュラムの検討（2025年度より1年選択、2年新探究の実施）を進める。
- (4) チーム山美として、教育力の向上（教員の資質向上のための研修実施等）に努める。

2 学生の諸活動を支援する。

- (1) 資格取得（美容師免許、各種検定等）を支援する。
- (2) 大会参加（今年度より経済的支援実施）、ヘアショー等を支援する。
- (3) 就職活動を支援（サロン説明会の実施等）する。

3 募集活動を推進する。

- (1) 2025年度入学生より入試制度の改善（自己推薦廃止、A03回目実施、2次募集1本化）を図る。
- (2) 現在行っている募集活動（高校訪問、進路説明会参加、進路ガイダンス・体験入学会・学校見学会実施、出前授業、学校訪問、ホームページ・SNSの活用等）の改善（募集要項は直接持参、進路ガイダンス対象校拡大、体験学習内容の拡充）を行う。

4 教育環境の充実に努める。

- (1) 施設・設備等の整備（ホームページ更新、教職員ノートパソコン入替、ホールの物置扉改修、ホール天付プロジェクター設置、3階男子トイレ改修等）を行う。

5 その他

- (1) 2025年度入学生より学業支援制度拡充。
- (2) 2025年度入学生より学費変更。
- (3) 2025年度人件費の再見直し。
- (4) 諸規程等、学則の見直し。
- (5) 学習評価の見直し。
- (6) 学園50周年記念誌刊行。
- (7) 校歌歌詞の部分変更。

3 財務の概要

1 資金収支予算書

2 事業活動収支予算書

3 貸借対照表

4 終わりに

現在の日本では、人口減少、少子高齢化等による労働人口の減少に伴い、男女を問わず、70歳までも働くことが求められています。学び続けることの大切さとともに、リカレント教育（学び直し）やリスキリング（再教育）の重要性が叫ばれる中、好きを仕事（何を大切に生きていくのか）に、技術（資格）で世の中に交わっていくという生き方（美容の道を歩む生き方）は、評価の対象になるものです。加えて、美容の道は、長く働ける職業であり、他者への貢献（人の役に立つ）、存在の確認（感謝、喜び）が実感できる職業でもあります。

監 査 報 告 書

学校法人薬師の杜学園

理 事 会 御 中

私たち学校法人薬師の杜学園の監事は、私立学校法第 37 条第 3 項の規定に基づく
監査を行うため、令和 6 年度学校法人薬師の杜学園の業務並びに財産の状況について
監査を実施した。

監査の結果、学校法人薬師の杜学園の業務に関しては法令及び寄附行為に違反する
重大な事実はなく、また財産の状況は適正なものであった。

令和 7 年 4 月 25 日

学校法人薬師の杜学園

監 事

志田 俊雄

監 事

鈴木 啓司